

## 1 議会への報告資料(中間報告)

平成26年第3回定例会（平成26年9月24日）本会議録より抜粋

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第43 議員定数等調査特別委員会 中間報告

○議長（有田一彦） 日程第43、議員定数等調査特別委員会中間報告を議題といたします。

同委員会の設置からこれまでの中間報告をしたいとの申し出がありましたので、これを許可いたします。

○議員定数等調査特別委員長（藤田俊雄）議長。

○議長（有田一彦） 議員定数等調査特別委員長。

○議員定数等調査特別委員長（藤田俊雄）議員定数等調査特別委員会における現在までの調査研究の概要についてご報告いたします。

近年、少子高齢化に伴う人口減少及び日本経済の低迷等による地方財政の悪化など、地方公共団体を取り巻く環境は厳しいものとなっております。このような背景を受け、計画的な職員数の削減や財政健全化に向けた取り組みが必要とされ、効果的、効率的な行政運営を目的とした市町村合併が行われてまいりました。

職員数の見直しや財政健全化の取り組みが行われる中で、地方議会においても、議員定数及び報酬のあり方について見直しが必要となっております。本委員会は、市議会の役割である政策形成機能や執行機関に対する監視機能などを高め、市民に開かれた議会を築き上げ、議員の責務と議会活動の明確化を図るとともに、議員定数及び報

酬の適正化を定めるため、平成25年9月10日に設置されました。9月18日に開催した委員会において、今後の進め方について議論をいたしました。その中で、当初の予定どおり、平成27年3月定例会において最終報告を目標とすることといたしました。

平成25年11月8日から4回にわたり検討項目と日程などについて協議を重ねました。平成26年1月20日の委員会において、検討項目を他団体との比較、議員活動実態調査、通年会期の研究、アンケートの実施、定数と報酬の調査、常任委員会数と所管事務の調査研究、目指す議会像の整理の7項目とすることとし、あわせて日程については、資料収集、解析、検討を行った上で、平成26年9月定例会での報告会、そしてさきに述べましたように、平成27年3月定例会での最終報告を行うことといたしました。

7項目を検討するに当たり、3つの部会を設置し、各部会は委員長を除く9名が各3名に分かれて活動いたしました。作業部会Aは、常任委員会及び通年会期について、全国の自治体から類似団体を選定し、比較研究などを行いました。作業部会Bは、議員活動実態調査について、4月から6月までの本市議会議員の活動状況を調査分析いたしました。作業部会Cは、定数と報酬について、作業部会Aと同じ類似団体をもとに比較研究を行うとともに、6月には市民を対象とした議会に関するアンケート調査を実施いたしました。各部会での調査研究については、毎月委員会を開催し、中間報告及び協議などを行いながら進めてまいりました。各部会での調査研究の結果をもとに、委員会において委員全員によるさらなる調査研究を進めてまいります。

今後は定期的に委員会を開催し、目指す

議会像や議員の役割などについて整理し、本市における適正な議員定数及び報酬について、平成27年3月までに報告書をまとめ、3月定例会においてご報告させていただく予定としております。

加えて、本委員会の調査研究の状況などにつきましては、11月に市内6カ所で開催されます議会報告会において具体的にご説明させていただくこととしております。

以上がこれまでの本委員会における審議の経過でございます。

なお、1人会派の議員には、定例会ごとに審議の内容の説明を行っております。

以上、簡単ですが、議員定数等調査特別委員会の中間報告を終わります。

○議長（有田一彦） 以上で中間報告が終わりましたので、質疑があれば許します。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（有田一彦） はい、質疑なしと認めます。

以上で議員定数等調査特別委員会中間報告を終わります。